NPO 法人　ふろんてぃあタウン工房

# ふろタン通信

2014 年　10 月　7 日　広報センター　　No. 5

**MT.VICTORIA　PROJECT**

## ビクトリア山第3次現地調査隊　来年1月に派遣！

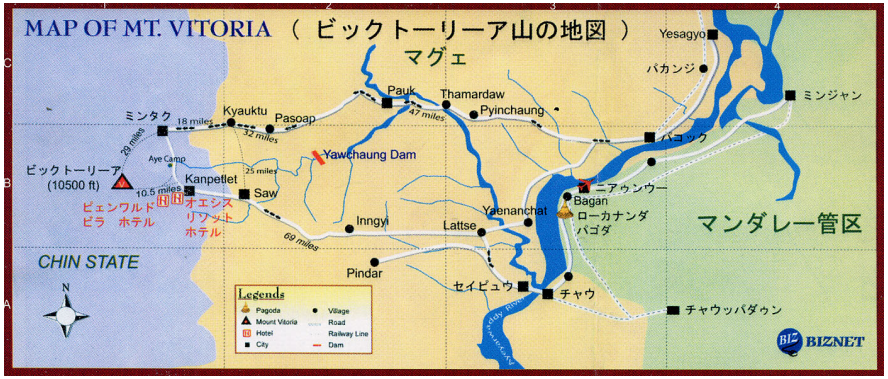
**□ガイドマップ完成に向けた登山ルート調査**

第３次調査隊の遠征時期について、８月の「通信」で 11 月または正月休みを候補日として早目に参加メンバーを募ることをお伝えしましたが、森田忠志さんから最初の参加申し出があり、来年の１月第４週に実施（1/18 出発予定）としました。

見出しに**「隊長は森田さん」**と書くつもりでしたが、第３次調査隊のミッションは「ビクトリア山の登山ガイドマップの完成に向けた登山ルート調査」と発信してきたことから、「隊長は、ぜひ古参のＵＲワンゲル会員に」と、ご本人は副隊長を希望、その趣旨に沿って赤川遠征強化委員長を中心に隊の編成に向けた取り組みを開始します。

第２次調査隊は、日本の公園内の登山道整備・保全方法等を紹介する小冊子「公園の登山道」と、ビクトリア山の登山マップ作成の参考にする昭文社の山と高原地図「御嶽山」を、ナマタン国立公園事務所に届けました。その後「御嶽山」と「ビクトリア山」を表裏一体にした登山マップの作成を進めていますが、第３次調査隊はビクトリア山の登山ルートの点検調査を実施します。

**元気で楽しい調査隊**の編成を目指して、第２次調査隊に参加頂いた「まちナビ倶楽部」をはじめ、多くの方々に広く声をかけていきますので、皆さんのご協力をヨロシクお願いします。




**□ツーリズムEXPOジャパンと御嶽山噴火**

９月 27・28 日の二日間、お台場のビックサイトで「ツーリズムＥＸＰＯジャパン」というイベントが開催されました。ピース・イン・ツアーが所属する「旅専」も出展し、そのブースの近くにはミャンマーの出展コーナーもあるとの知らせを受け、27 日に出かけてきました。ビクトリア山の情報が何かないかと聞きながらミャンマーの旅行社のパンフを集めて廻りましたが、左下の図は、その中で唯一ビクトリア山が載っていたパンフの貴重な（奇妙な？）地図。（登山マップというより位置図レベル、山の名前もフシギだし海の中に山があるみたい…）

そして、ミャンマーコーナーにいた時に、「御嶽山噴火」の知らせが届きました。９月 27 日は、歴史に残る衝撃・悲劇の日になりました。１年前の同時期、今年と１日違いの土・日（９月 28・29 日）に、URワンゲル同好会の月例山行で「御嶽山」が企画され、第１次・第２次調査隊でビクトリア山に登ったメンバー室井・江頭・赤川の３名と＋鶴見の４人パーティーで、土曜日は王滝口から登っていました。もし…。

**□後記**

もしかすると、ふろタン工房が「御嶽山」と「ビクトリア山」の親善交流を思いつく前から、二つの山は赤い糸に結ばれていたのでしょうか。マップの表紙に記した「日本百名山」の「後記」の「国をはじめた昔から山に縁があり…日本人の心の底にはいつも山があった」という深田久弥の言葉を読み返しながら、**二つの山の自然を見守り続けるこれからの活動**について、考えを巡らせています。

今月の第３木曜日の定例会**「山木会」**（於；「びるまの竪琴」.03-5420-1686）は 10 月 16 日、調査隊編成から御嶽部会の活動まで今回はテーマが盛りだくさんです。ぜひご出席ください。

「びるまの竪琴」は、18・19 日の増上寺での「ミャンマー祭り」にも出店しています。こちらにもお立ち寄りください。

**10 月7日現在の会員メンバー**

新しく入会した賛助会員の皆様。10 月は体制強化月間の最終月、さらなる会員拡大に期待！

**「正会員」**；室井隆良　瀬川基之　安原昭子　浜崎良治　森田忠志　赤川勉　朝倉正浩　高田睦夫　安村孝志　宮本保宏　鶴見隆志　山本稔（12 名）

**「賛助会員（個人）」**；安田重雄　川添修　岩本善恵　牛久保亮一　小平和司　髙橋修司　青柳志郎　迎尚子　岡島史祥　安達哲郎　前澤一雄　鈴木俊明　大墨宗重　森下毅一　長野啓三田村喜己男　小島正勝　前園耕夫　林和馬（19 名）

**「賛助会員（団体）」**；㈱ピース・イン・ツアー（八井麻由美）　㈱アルテップ（荒川俊介）　㈲プラディ・アソシエイツ（深島一郎）　昭和㈱（髙木長門）（４社）